

# 株式会社エンリージョン



## ■プロフィール

地域を熱く。人生を熱く。

## ENREGION

株式会社エンリージョン

製品とサービス:

Microsoft 365 Business Premium、  
Outbound Security for Microsoft  
365、セキュリティ対策おまかせパック

業界: サービス業(人材紹介)

組織の規模: ~50名 (2023年1月  
現在)

コーポレートサイト:

<https://enregion.jp>

## ■導入前の課題

- ・ 拠点数が多く、在宅での勤務やサテライトオフィス勤務等のテレワークも実施しているため、それぞれの働き方に応じた体系的な情報セキュリティ対策が必要だと感じていた。
- ・ 日常的に、求職者の個人情報やメールの添付ファイルでやり取りする中で、誤送信などによる情報漏洩を防ぐ方法・仕組みを探していた。

## ■採用後の解決

- ・ 最新の情報セキュリティ機能が含まれているMicrosoft 365 Business Premiumへ移行することで、各拠点のセキュリティ対策を短期間で整備、本社から一元管理できるようになった。
- ・ メールにはOutbound Security for Microsoft 365をアドオンすることで、PPAP問題への対応とヒューマンエラーによる誤送信を防ぐ仕組みづくりができた。

「熱意ある地域の創造に貢献する」という理念のもと、地方のUターン・Iターン転職を中心に、地域に密着した人材サービスを提供する株式会社エンリージョン。近年では人材紹介だけでなく、ヘッドハンティングや採用代行、再就職支援など様々な角度からアプローチし、働く人々の幸福と地元企業の発展に向けた事業を展開しています。

エンリージョンでは本社事務所の移転をきっかけに従来の情報セキュリティ対策を見直しました。テレワークなどの新しい働き方に合わせた環境を構築するために、セキュリティ対策の機能が充実したMicrosoft 365 Business Premiumへアップグレードし、さらにOutlookアドイン型のメール誤送信対策ツール「Outbound Security for Microsoft 365」を導入しました。また、導入にあたりティーケーネットサービスのセキュリティ対策おまかせパックを採用、テンプレートを用いた効率的な要件定義と専用チャットルームによるタイムリーな助言・指導を受け、体系的なセキュリティ対策強化を短期間で実現しています。

## 本社事務所移転が従来の情報セキュリティ対策を見直すきっかけに

経営・管理業務に加え社内の情報システムに関する業務も担う、経営管理室 江口沙織氏は、Microsoft 365 Business Premium及びOutbound Security for Microsoft 365を導入した背景と課題について、次のように振り返ります。

「きっかけは、本社事務所移転に伴い設備や通信関係を見直す中で、とある企業から情報セキュリティ対策に関する提案を受けたことでした。UTMやソフトウェアなど様々なサービスの紹介を受けましたが、『新潟の

本社だけが導入しても対策としては不十分なのは、『仮に全拠点に導入すると相応の投資になるが見合う効果はあるのか』『テレワークをする場合はその対策が有効なのだろうか』と、一旦立ち止まって考えることにしました。インターネットでも情報収集したところ、Defender for Businessというマイクロソフト社のクラウド型セキュリティサービスを見つけました。それまでもMicrosoft 365は使っていましたが、この機能についてはよく知らなかったので以前、Microsoft 365を導入するときにお世話になったティーケーネットサービスに相談することにしました」



経営管理室 江口沙織氏

情報セキュリティ対策に関して、エンリージョンが一番懸念していたのは個人情報の漏洩でした。業務上、求職者の履歴書などをメールでやり取りする必要があるため、その際はPDFにパスワードを設定し、別メールでパスワードを送信するという方法をとっていました。しかし、メールが盗聴される可能性を考慮すると万全な対策とは言えない状況でした。その他にも、社員に貸与しているPCのパスワード管理や、インストールされているソフトウェアの管理等に課題を感じていました。

## 常に最新かつ柔軟に展開が可能なクラウドサービスであることが決め手

検討の結果、これまで使用していたMicrosoft 365 Business StandardからMicrosoft 365 Business Premiumにアップグレードし、昨今のサイバー攻撃の情勢なども踏まえて、アカウントやデバイスの保護、メールからのマルウェア感染リスク低減など、統合的な対策を講じることにしました。また、マイクロソフト製品だけでは実現が難しいメールの誤送信対策についてはOutbound Security for Microsoft 365(キャノンITソリューションズ株式会社)を導入することで実現しました。また、導入時にはティーケーネットサービスのセキュリティ対策おまかせパックを採用し、ポリシー設計やスムーズな展開に向けた支援を受けました。これらの選定理由として、江口沙織氏は次のように話します。

「ティーケーネットサービスに相談したところ、当社の要望や課題の多くはMicrosoft 365 Business Premiumで解決できることがわかりました。県外拠点が多く、テレワークをする社員もいるので、UTMなどの機器を事務所に置くような対策ではなく、クラウドでアカウントやデバイスを一元管理ができたほうが当社の働き方にも合っていると思いました。機器の設置やメンテナンスの手間もなく、これまで使用していたMicrosoft 365のライセンスをアップグレードするだけで常に最新のセキュリティ対策ができるところが良いと思いました。また、セキュリティ機能の要件定義や初期設定を全て自力で行うのは難しいだろうと思っていたので、ティーケーネットサービスのセキュリティ対策おまかせパックで対応してもらえるのは助かりました」

上記製品・サービスの導入を決めた 代表取締役 江口勝彦氏は次のように振り返ります。

「これまでもIT、特に業務のクラウド化は会計や人事管理などで積極的に導入するというスタンスで進んできたので、その意味でもMicrosoft 365でのセキュリティ対策は相性が良いと感じました。当社のお客様

は比較的大手の企業が多く、求められるセキュリティ対策のレベルも高いので、我々もその高いレベルに合わせるべく、我々もその高いレベルに合わせていくのが大事だと考えます。社員に悪意がなくてもセキュリティ事故は起こり得るものなので、拠点が離れていても社員が使うPCを会社の管理下に置くことができ、安全な環境で仕事ができるのはクラウドサービスのメリットだと思います」

## アカウントとデバイスをクラウドで一元管理、メールの誤送信対策も万全に

エンリージョンでは、Intuneでデバイスの管理・制御を行い、Defender for Businessでデバイスの異常を検知する仕組みを整えました。社員のアカウントはAzure Active Directoryで管理され、テレワーク時には多要素認証でサインインを行います。受信したメールの添付ファイルや文中リンクはDefender for Office 365のサンドボックスで検疫され、安全と判断されてからメールボックスに届きます。これらの機能はMicrosoft 365 Business Premiumのライセンスに含まれているため、管理画面へのシームレスなアクセスも可能になっています。また、Outbound Security for Microsoft 365ではメールの添付ファイルが自動でURLに変換され、送信時には確認画面が表示されます。従来のパスワード付きPDFの生成・パスワード別送の手間が大幅に削減でき、送信時に宛先や添付ファイルについて必ず見直す仕組みづくりができました。この効果について江口沙織氏は「これまでは社員のテレワーク環境を把握することができませんでした。Microsoft 365のセキュリティ対策機能(条件付きアクセス・多要素認証)を活用することで、私用PCでの利用をブロックしたり、許可されたアカウントだけでログインをしているのが管理画面から見えるようになったりしたので安心です。私自身、メールの誤送信についてはOutbound Security for Microsoft 365導入後は発生しておらず、ファイルの添付忘れもなくなったように思います。ツールの仕様上、社内宛のメールにも誤送信対策のポップアップ

が出てしまい少し煩わしさもあるのですが、かえって社内のTeams利用が進んだのは良い変化だと思います」と評価します。

ティーケーネットサービスが提供するセキュリティ対策おまかせパックは、Microsoft 365 Business PremiumやMicrosoft Enterprise Mobility + Security(EMS)を導入するお客様向けの初期設定+オンラインサポートを実施するサービスです。テンプレートをを用いた要件定義と環境設定を行い、パイロットユーザーが実環境で動作や運用方法の事前確認を行うことで、問題点の早期発見・改善ができ、スムーズに全社展開することができます。展開前後はTeamsで専用チームを作成し、チャットやビデオ通話等で質問や困りごとの解決の支援を行います。このサービスについて江口沙織氏は、「Teamsは普段から使っているので馴染みやすかったです。また、質問の内容別にスレッドを立てることができるので、情報が整理され振り返りがしやすかったです。メールとは異なり手軽で、会話のキャッチボールが素早くできたのも良かったです」と評価します。江口勝彦氏は「当社には情報システムの専任者がおらず、本来業務の片手間に調べながら対応するのも効率が悪く時間も割けないため、使い慣れたツールでタイムリーにサポートしてもらえたのは助かりました」と話します。



代表取締役 江口勝彦氏

全体を通して江口勝彦氏は「今回のツール導入で、当社のお客様にも『エンリージョンは“セキュリティ対策は経営課題”という高い意識をもって情報セキュリティリスクの回避・低減に取り組んでいる』と感じてもらえたと思います」と話します。時代の流れとともに情報セキュリティに関する考え方も日進月歩で変化していく中、企業も利用するツールや運用方法をアップデートしていくことは、顧客の信頼を得るためにも重要な取り組みであると言えます。

## 信頼できるパートナーとともにDXを推進

従来の情報セキュリティ対策を見直し、時代に合った対策へ踏み切ったエンリージョン。この取り組みに関して江口勝彦氏は次のように話します。

「DX(デジタルトランスフォーメーション)の観点からも、今後も積極的にITを活用していきたい、できる限

り新しいものに取り組んでいきたいと考えています。今回のクラウドサービスを活用した取り組みも、当社の考えやスピード感、拠点・社員の増加等の変化に非常にマッチしていたと感じています。一方で、ただ新しいことに手を出すだけでなく『このITツールは当社に合ったものなのか』『やりたいことを実現するにはこの方向性で正しいのか』という視点も重要です。お金のことは税理士、法律のことは弁護士、というように、ITのことも当社の立場に立って一緒に考えてくれるスペシャリストの存在が欠かせません。会社の事情もよく理解してくれ、信頼ができ、より改善していけるパートナーを見つけることがDXの第一歩です。ティーケーネットサービスには当社のIT環境や取り組み姿勢をよく理解してもらっているのも、今後も継続的に相談に乗っていただけると幸いです」



代表取締役 江口勝彦氏(右)と経営管理室 江口沙織氏(左)